

# 新幹線プレス

2017年7月8日 No.354

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

## 国家戦略となったリニア中央新幹線!! しかし、そのおかげで職場では!!

社員 成田 隆浩 57 (さいたま市大宮区)  
六月下旬、東京での「ストップ・リニア! 訴訟一周年記念講演会&シンポジウム」に参加した。JR東海が建設を進めている「リニア中央新幹線」に反対する七百三十八人が原告団を形成した。国に対して工事計画認可の取り消しを求めて、東京地裁に訴訟を起して一周年を迎えたことを記念し開催された。

### リニア 課題残したまま

ミラー  
に生じる残土をどうするかといった環境問題が心配される。また、磁力により浮上・走行する際に発生する強力な磁場による健康被害の問題もある。さらに、異常時に大深度地下から乗客を避難させるための安全面でも課題がある。JR東海社長自らが「絶対にペイしない」と言い切った経済的問題など、多くの克服すべき課題を積み残したままの建設になった。JR東海の主催する各地の説明会も十分な説明を得られないために、地域住民の反発を買っている

状態だ。それでもなお強引にリニア建設に突き進むのに疑問を感ぜざるを得ない。シンポジウムで講演に立ったジャーナリストの斎藤貴男氏は、それでもリニア計画が進む理由として、原発輸出と同じくリニアを輸出するという国家戦略に高められたからだ指摘していた。この国の国家戦略は、このところ間違いだらけであるのだから、マスコミや野党にしっかりとチェック機能を果たしてもらいたい。いや、われわれ国民自身がこうした問題に目を光らせなければならぬのではないか。

原発輸出と並び、国家戦略として海外輸出を狙う超電導リニア新幹線。

原発再稼働と同じで国内でリニアを走らせることが輸出のために欠かせない。いわば展示場の役目だ。

しかし、その陰でJR東海の各職場では何が起きているのか!

効率化に次ぐ効率化でJR本体のみならず、協力会社労働者まで疲弊の極みに達しようとしている。

リニア推進のための効率化にみんなが反対の声をあげよう!

2017年7月8日 東京新聞より

## リニア推進のための犠牲はお断り!!